

二年学年だより

No. 7

12月号

令和7年12月 日発行

207HR

「この今は 一度だけ」

「繰り返し歌う鳥 繰り返し回る星 何度でも繰り返す この時はたった今」

覚 和歌子（かく わかこ）さんの詩「リフレイン」の一節です。ジブリ映画の主題歌となった「いつも何度でも」が有名な方ですが、詩人としても活躍されており、合唱曲の中には彼女の詩が用いられたものも多数あります。この「リフレイン」も、合唱音楽として広く知られるようになった作品です。

1年は365日。学校登校日はそのうちの200日程度だそうです。私がこれを書いているのは12月2日で、138日目の登校日。学校に通い続けることは皆さんにとって当たり前の、生活の中で繰り返すことのひとつですが、その日々に皆さんは「かけがえのなさ」と感じられているでしょうか。

晴れたり曇ったりする日々の情景も、決められた時間にいつもどおり始まる授業も、夏の日でも冬の日でも努力を重ねた部活動も、一度として同じものはありませんでしたし、これからも一度きりです。同じような繰り返しに見えて、実はそれが二度とない日々だと気付けると、一日の使い方が変わるような気がしますね。

同じものが二度とないということは、永遠に感じる日々には終わりがあるということです。友人と笑い合える時間。真剣に勉強できる時間。自分の将来について真面目に考える時間。家族に「行ってきます」や「ただいま」が言える時間。何気ない日々の一瞬も、もう二度とそれができない日が必ず来ます。後悔しないように、日々の何気ない営みを、大切に思えるといいですね。

今年度の登校日は残り60日くらい。終わりが近づいているからこそ、自分の生活を丁寧に送りましょう。

「あくる日もあくる日も どれだってひとつきり 何度でも繰り返す この今は一度だけ」

(207HR担任)

「今、できること」

今回も多くの生徒が愛媛マラソンボランティアに手を挙げてくれました。大変感謝しています。私は市民化された愛媛マラソンの運営に携わって15年目になります。当初はコース沿線の店舗・交通渋滞対策等々、分からないことだらけの準備作業で七転八倒の日々でした。そのなかでも一番苦労したのがボランティア集めでした。今でこそ、5,000人ほどのボランティアが集まるようになり、人数不足の心配は全くなくなりましたし、ここ最近では若い学生・社会人世代の方も増えてきました。そのような方に「なぜボランティアに参加してくれたのですか」と伺ったところ、「高校生の時にやったことがあるから」「愛媛の一大イベントだから」という答えでした。何も無いところから準備をはじめ、失敗だらけの運営で毎回反省ばかりですが今、できることをコツコツと続けることの大切を改めて感じさせてもらいました。

(207HR副担任)